

令和3年度第1回契約監視委員会議事概要

1. 日時・場所：令和3年6月30日 14:00～16:00 Web会議開催

2. 出席者：

委員	野元 学二	(レックスウェル法律特許事務所 弁護士)
委員	辻 純一郎	(J&T 治験塾 塾長、公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団評議員、EPS ホールディングス(株)社外監査役)
委員	加藤 暢一	(加藤公認会計士事務所 公認会計士 国立大学法人東北大学経済学研究科会計大学院 教授)
委員	石井 康彦	(国立研究開発法人理化学研究所 監事)
委員	松尾 康博	(国立研究開発法人理化学研究所 監事)

3. 説明者等：

横浜事業所 研究支援部契約課 相原課長、古川囑託職員
神戸事業所 研究支援部経理課 永橋副主幹
神戸事業所 大阪研究支援課 駒井課長、
生命機能科学研究センター (BDR) バイオコンピューティング研究チーム 堀之内研究員
播磨事業所 研究支援部契約課 大塚課長
契約業務部 契約第1課 今井課長、水村副主幹、小池副主幹

事務局 監事・監査室 近藤室長 木村調査役 日紫喜室員

4. 議事概要：

(1) 会議開催について

今委員会は、新型コロナウイルス感染症対策への必要性にかんがみ、通常開催は困難であることから、メールによる審議とWeb会議を行った。

(2) 調達等合理化計画：メールによる審議

調達等合理化計画(2020年度の自己評価及び2021年度の計画(案))について審議した。

所管省庁等への報告のため、早めに議論する必要がある関係上、次のスケジュールでメールによる審議を行った。

令和3年6月7日 資料配布。審議開始

同 6月14日 了承

(3) 令和2年度第4四半期締結の契約点検(リスト点検)

令和2年度第4四半期に締結した契約610件についてリスト点検を行った。

(4) 令和2年度第4四半期締結の契約点検(個別点検)

令和2年度第4四半期に締結した契約から委員が選定した、本部(契約業務部)及び3事業所の計5案件(一般競争契約4件(物品3、役務1)、競争性のない随意契約1件(役務1))について契約内容の個別点検を行った。今回はシステムに関する調達(物品、役務)をテーマの一つとし、金額の妥当性、予定価格の立て方、入札に至るまでのプロセスの検証とともに、ベンダーロックインに伴う一

者応札問題にどう対処しているかについても検証した。

各事業所共に、仕様書の工夫や権利処理、納品物に対して実際の開発を理研が行えるか等、できる限りの取り組み・検証を行っている。今後も引き続き、代理店間競争を促す取り組みを行い、価格の合理性、妥当性、透明性の確保されたい旨コメントがあった。

(5) 報告事項

契約業務部契約第1課より、市場化テスト案件について報告があった。2020年4月1日に契約した「マルウェア対策・WAF 機器の運用管理」は、官民競争入札（いわゆる市場化テスト）のプロセスで契約を行ったため、2年契約の1年が経過したタイミングで実施状況を入札監理小委員会（総務省事務局）に報告する必要がある。また、外部有識者等によるチェックを受ける必要もあることから、今回契約監視委員会に報告したものである。本事業は、2022年3月31日をもって終了（契約期間満了）し、市場化テストも終了することについては、官民競争入札監理委員会も了承済である。

(6) 次回委員会の開催について

次回の令和3年度第2回委員会は、諸般の状況をかながみつつ、日程の調整を行うこととした。

以上